



実践団体情報 (1 団体あたり 1 回だけ記入する内容です)

必要に応じてセル(表の枠)の高さを調整していただいて構いません

記入日	西暦 2021 年 1 月 14 日 (2020 年度のチャレンジプラン)
実践団体名	北海道標津高等学校
代表者名	森田 泰史
プラン全体のタイトル 内容を端的に示し、中身を見たくなるタイトルをつけてください。計画時のタイトルと同じである必要はありません	標津高校防災協働プロジェクト
電話番号	0153-82-2015
メールアドレス	n-shibetsu-z0@hokkaido-c.ed.jp
実践団体の説明 団体の来歴や特徴などを書いてください	本校は、北海道標津町内にある全校生徒数 124 名の小規模校で、洪水、高潮、雪害、津波被害の想定される地域に位置している。本校生徒会では、HUG を取り入れた防災の取組を実施、さらに町主催の防災訓練に協力をしてきた。近年は、被災地へのボランティア参加や現地視察研修を実施。また、本校の避難所としての機能を確認するために避難所設営訓練を実施し、防災意識の向上に努めてきた。生徒会交流も実施しており、隣接校や釧路管内の高等学校やとの交流会を重ね、活発な生徒会活動を実践している。
所属メンバー 団体のメンバーについてお名前やご所属、役割などを差し支えない範囲で書いてください	標津高等学校生徒会総務部生徒、ユネスコ局生徒、ボランティア部生徒、生徒会担当教諭
活動地域 〇〇地方・〇〇校区など活動地域の範囲に合わせて記載してください。活動範囲が小さい場合には都道府県名など場所が特定できる情報を入れてください	北海道 根室管内 標津町
活動開始時期・結成時期	2017 年 3 月～
過去の活動履歴・受賞歴 これまで行ってきた活動や受賞歴(チャレンジプラン以外も含む)をご記入ください	アクサユネスコ減災防災プログラム採択 (2017～2018 年度) 防災教育チャレンジプラン採択 (2019 年度～)



プラン全体の概要	高校生が主体となり、町役場、行政及び地域住民と連携し、「高校生が町を守る」ことを意識させ、主体的に行動できる地域防災リーダー育成に取り組む。2019年度に作成に着手した「オリジナル HUG」を地域に普及させるために、地域を巻き込んだ HUG や REAL HUG（避難所開設シミュレーション及び避難所体験）を行い、有事の際のスムーズな避難所開設を目指す。また、高校生が主体となり、防災活動をこども園、小中学生に普及させることにより、町内で一貫した防災教育の浸透を図り、非常時に適切な行動をとり、地元愛を持った児童生徒の育成を図ることを目的とする。これらの活動により、「地域循環型防災教育」を目指し、防災活動の普及を促進させる。
----------	--



プランの年間活動記録

	プランの立案と調整	活動準備	実践活動
4 月	・ 町担当との連絡調整 ・ 防災研修提案 ・ オリジナル HUG 仕上げ		
5 月	・ 学校祭打ち合わせ		
6 月	・ 展示物、防災講話、防災訓練うちあわせ ・ 町内小中高防災会議設立準備		・ オリジナル HUG 製作再開 (6/1～)
7 月	・ 研修先との連絡調整 ・ 語り部との連携	・ オリジナル HUG データ推敲 (町役場)	
8 月	・ 防災講話内容調整 ・ 町民との HUG 実施計画打ち合わせ		8/28 オリジナル HUG 完成
9 月	・ 出前授業内容調整	・ PTA、しべつ未来塾へ参加依頼	
10 月		・ 出前授業準備	10/24 オリジナル HUG
11 月			11/25 出前授業 (中学校)
12 月			12/25 出前授業 (こども園)
1 月	・ 生徒会交流会内容調整		
2 月		・ 生徒会交流会参加校調整	2/13 CP 報告会
3 月			・ 生徒会交流会

プラン全体の反省点・課題・感想	・ コロナ禍で計画通りに行うことができなかったが、オリジナル HUG の完成と、これを使った HUG を行うことができよかった。中間発表時に、リモートでの活動について他地域と比較すると取り組みの遅れ・乖離を感じていたが、子ども園での出前授業において一部リモートで行うことが
-----------------	--



	できた。直接対面した活動とリモートでの活動とのバランスやインフラにおいて、地域格差を感じた。町内全体にオリジナル HUG をどのように広げるかが今後の課題となる。
今後の活動予定	・オリジナル HUG を補足、改良し、別な災害にも対応できるようにすること。また、これらの活動を絶やさないためにも、町役場やしべつ未来塾などの外部団体と連携し、地域住民や幼小中への出前授業を通年化、「地域循環型防災教育」（出前授業を受けた幼小中学生が標津高校に入り、再び防災活動に携わる）確立を目指す。防災活動に関する取り組みを継続し、標津高校が防災リーダー育成の拠点となるようにする。